

修士論文（要旨）

2009年 1月

施設介護従事者の職務コミットメントと役割ストレスが

バーンアウトに及ぼす影響について

指導 井上 直子 准教授

国際学研究科

人間科学専攻 臨床心理学専修

207j5015 竹内 愛

目次

I. 問題	1
1. はじめに	1
2. 社会の変化と介護従事者の現状	1
3. 介護施設の種類と現状	2
4. 介護従事者とバーンアウトの関係	3
II. 先行研究	4
1. バーンアウトとは	4
2. バーンアウト尺度	6
3. 介護従事者の個人属性とバーンアウトの研究	7
4. バーンアウトの発生メカニズム	8
5. コミットメントとは	10
6. 役割ストレスとは	14
7. アイデンティティ理論	16
8. 仮説	16
III. 本研究の目的	17
IV. 方法	17
1. 予備研究	17
2. 本研究	19
V. 結果	21
1. 各尺度の平均得点	21
2. 各尺度合計と個人属性との比較	21
3. バーンアウトと役割ストレス, 職務コミットメントの関係	27
4. 職務コミットメントの高さとバーンアウトとの関係	28
VI. 考察	29
1. 各尺度合計と基本属性の比較	29
2. バーンアウトと役割ストレス, 職務コミットメントの関係	31
VII. まとめと今後の課題	32
引用・参考文献	35
謝辞	38
資料	

I. 問題の背景と所在

日本では急速に高齢化と長寿化が進み、要介護高齢者数の増加や介護保険制度の整備など高齢者介護の問題が深刻化されている。このような高齢社会において、その担い手である介護従事者の身体的および心理的健康促進の確保と維持が必要とされている。その中でも、老人福祉施設など施設に従事している介護従事者は、施設内での人間関係や、24時間高齢者を支えるなどということから、ストレスを抱えやすいと考えられる。彼らの特徴的なストレスのひとつに、役割ストレスが挙げられる。彼らは、モノではなくヒトを扱う仕事のため、役割の曖昧さや役割の葛藤を感じやすいと考えられている。この役割ストレスは、ヒューマンサービス従事者が陥りやすいバーンアウトの起因になるともいわれている（田尾・久保，1996）。

ヒューマンサービス従事者である施設介護従事者は、理想主義者や仕事熱心な人が集まっている（田尾・久保，1996）。この仕事の諸側面に対して行う関与や心理的同一化は、ワーク・コミットメント呼ばれ、その中でも介護という職務に対する関与を「職務コミットメント」と呼んでいる（鷺見，2006）。この「職務コミットメント」を、強く持つことは、仕事に対し積極的に取り組み、ストレスによる身体的・精神的健康への悪影響を阻止し、結果、バーンアウトを防ぎ、より質の高いケアを提供できると考えられる。しかし、職務コミットメントが強い人ほど、バーンアウトと関連の深い役割ストレスに敏感であり、バーンアウトの危機に陥りやすいと考えられる。

II. 目的

本研究では、職務コミットメントと役割ストレスが、バーンアウトにどのような影響を与えているかを検討し、バーンアウトを防ぎ、介護職という職務へのコミットメントを保ちながら働けるための課題を明確にすることを目的とする。

III. 方法

1. 調査対象者：東京都，神奈川県内の特別養護老人ホーム8ヶ所，有料老人ホーム10ヶ所，計18ヶ所に勤務する介護従事者640名を対象とし，345名からの回答があり，回収率は53.9%であった。
2. 調査時期：2008年6月から10月
3. 調査方法：基本属性に加え，「日本語版バーンアウト尺度（久保，1998）」「役割ストレス尺度（田尾，1986）」「職務関与尺度（鷺見，1997b）」の質問紙を使用し，回答を得た。
4. 分析方法：分析方法は，SPSS. 16による統計解析を行った。

IV. 結果と考察

1. バーンアウトと個人属性

バーンアウトと個人属性と検討した結果，介護の経験や知識が少ない若年層や，配偶者というごく身近な人からのサポートが得られにくい未婚者は，情緒的な消耗感を感じやすいということがわかった。役割ストレスについては，役職を持っている若年層の男性で，さらに，家庭においても役割を持たない未婚である人が役割ストレスを

感じやすく、職務コミットメントにおいては、年齢や男女差、経験年数による差はないということが示唆された。

2. バーンアウトと役割ストレス、職務コミットメントの関係

バーンアウトの3因子、役割ストレスの3因子、職務コミットメントとの関連を検討した結果、「情緒的消耗感」が多くの要因と関連していることが示唆され、役割ストレスがバーンアウトに影響を与える要因のひとつと考えられる。職務コミットメントについては、バーンアウトの持つ否定的な内容と負の相関が見られ、職務コミットメントを持つことは、バーンアウトの抑止にとって重要な要因であると考えられる。

3. 職務コミットメントの高さとバーンアウトとの関係

曲線的な関数関係を確認するため、職務コミットメントの尺度得点を高群、中群、低群に分けて分析を行った。その結果、「職務コミットメント」が高い人は、「情緒的消耗感」「個人的達成感の低下」が低いということが示唆された。

V. まとめ

これまでの先行研究にもあるように、バーンアウトと役割ストレスが密接に関わっていることが示唆された。特に、10代、20代の施設介護従事者は、他の年代に比べ、「情緒的消耗感」や役割ストレスを感じやすいということが示唆された。この年代の職員は、介護経験の少なさや、ストレスを適切な形で表現できず溜め込んでしまい、結果、疲労感や負担感を感じやすい可能性があると考えられる。また、婚姻をしていることが役割ストレスを分散させているという点からも、晩婚化が進んでいる未婚者が多い若年層へのバーンアウト予防対策を重視していく必要があると考えられる。そして、介護という仕事に対し、信念を持って取り組むこと、つまり、「職務コミットメント」を強く持つことは、バーンアウトを防ぐ重要な要因になると考えられ、「職務コミットメント」の肯定的な側面が明らかになった。

本研究においては、施設介護従事者にとって大きなストレス要因である役割ストレスと関連の深い職務コミットメントを取り上げ、バーンアウトとの関連を検討した。今後、「職務コミットメント」以外のワーク・コミットメントについて検討することや、「職務コミットメント」の緩衝効果について検討をしていくことは、介護という職業や所属する組織の中で仕事を続けていくための方法や対策を得るために重要な意義を持つだろう。

引用・参考文献

- 藤野好美(2001). 社会福祉従事者のバーンアウトとストレスについての研究, 社会福祉学, 第 42 巻第1号;137-149
- 一瀬貴子(2006). 介護職・看護職の職務バーンアウト研究の現状と課題, 関西福祉大学社会福祉学部, No. 9, 101-117
- 久保真人(1998). ストレスとバーンアウトとの関係—バーンアウトはストレンか?—, 差産業・組織心理学研究, 第 12 巻1号;5-15
- 久保真人(2007). バーンアウト 燃え尽き症候群 —ヒューマンサービス職のストレス—, 日本労働研究雑誌;No.558
- 介護労働安定センター(2005). 介護労働者のストレスに関する調査
- Kanungo, R.N.(1982). Measurement of Job and Work Involvement, *J. Appl. Psychol.*, Vol67, No3;341-349
- Kahn, R. , Wolfe, D. M. , Quinn, R. P. , Shoek, J. D., & Rosenthal, R. A. (1964). *Organizational Stress: Studies in Rore Conflict and Ambigiyty*, Wiley(カーン, R. W. 奥田俊介・岡田充雄・篠塚真吾(訳)(1973). 組織のストレス 葛藤にさらされた現代組織の歪み 上, 産業能率短期大学出版部)
- Lazarus, Richard. , & Folkman, Susan. (1984).*Stress, Appraisal and Coping*, Springer Publishing (ラザルス, R. 本明寛・春木豊・織田正美(監訳)(1991). ストレスの心理学—認知的評価と対処の研究—, 実務教育出版)
- Maslack, C. (1976), Burned-out., *Human behavior*, 5(9), 16-22
- 田尾雅夫・久保真人(1996). バーンアウトの理論と実際 心理学的アプローチ, 誠心書房
- 田尾雅夫(1989). バーンアウトヒューマン・サービス従事者における組織ストレス, 社会心理学研究, 4(2);91-97
- 田尾雅夫(1986). 中間管理職における役割ストレスと疲労感, 心理学研究, 57(4);246-249
- 田尾雅夫(1991). 組織の心理学, 有非閣
- 鷺見克典(1993). 職務関与の概念とその課題, 名古屋工業大学紀要, 第 45 巻;51-66
- 鷺見克典(1995). 職業性ストレスに対する職務関与と神経質傾向の効果, 名古屋工業大学紀要, 第 47 巻;281-285
- 鷺見克典(1997). 役割ストレスと精神的症状および転退職意図との関係における調整要因としてのワーク・コミットメント, 日本経営工学会論文誌;48(5)
- 鷺見克典・早川清一(1995). 職務関与の抑うつ症状に対する効果について, 日本経営工学会誌 ;45(6)
- 鷺見克典(2006). ワーク・コミットメントとストレスに関する研究, 風間書房
- 鷺見克典(1997). ワーク・コミットメントの 4 形態における弁別的妥当性, 日本経営工学会論文誌; 48(1)
- 義元純子・富岡和久(2005). 介護保険施設における介護福祉士のバーンアウトとストレスの関係について, 北陸学院短期大学紀要, 第 37 号;173-182
- 義元純子・富岡和久(2007). 介護老人福祉施設における職員のバーンアウト傾向とストレス要因の関係について, 北陸学院短期大学紀要, 第 39 号;161-172